

日本学術会議 健康・生活科学委員会
生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会
第26期第2回議事要旨

日時 令和6年3月6日(水)10:00~12:00

場所 ビデオ会議(Zoom)

出席者:杉山久仁子委員長 守隨香副委員長 阿部栄子委員 池田彩子委員 大藪千穂委員
小川宣子委員 佐藤裕紀子委員 重川純子委員 宮崎陽子委員 宮野道雄委員
(欠席者:なし)

資料1-1 第25期第12回家政学分科会議事要旨案(公開用)

資料1-2 第26期第1回生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会議事要旨案(公開用)

資料1-3 第26期第1回生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会議事要旨案(委員用)

資料2-1 第25期で実施した活動と今後の検討事項

資料2-2 生活科学系コンソーシアムにおける第13回シンポジウムアンケート結果

資料3-1 第15回生活科学系博士課程論文発表会プログラム

資料3-2 第15回生活科学系博士課程論文発表会要旨集

資料3-3 2023年度活動報告(案)

資料3-4 2023年度決算(案)

資料3-5 2024年度活動計画(案)

資料3-6 2024年度予算(案)

議題

議事要旨案の確認(資料1-1,1-2,1-3)

- ・第25期第12回家政学分科会議事要旨案を確認し原案通り了承された。
- ・第26期第1回生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会議事要旨案を確認し、曜日の修正をもって了承された。

1. 第26期家政学分科会の活動について(資料2-1,2-2)

委員長より以下の4点の提案がなされ、今後の方向性について審議した。

- ① 第25期の期間において生活科学系コンソーシアムのシンポジウムで議論してきた事項の中から課題を見出して取り組む
- ② 日本学術会議家政学分科会第25期で検討されてきた子育て支援について、国の動きもふまえて継続して検討し、家政学の視点から包括的な支援のあり方を検討する
- ③ 生活科学系コンソーシアムの構成学会を対象としたアンケートの回答から特に日本家庭科教育学会の提示したウェルビーイングに注目し、健康で安心な生活を実現するために家政学が担うべき役割を明確化し、取り組むべき課題について考える
- ④ 金融教育について関心が高まっているが生活との関わりに関する視点が弱いため、

家政学の視点から情報発信をしていく

2. 生活科学系コンソーシアムの活動について

- ・博士課程論文発表会の座長と進め方及び運営について確認した（資料 3-1, 3-2）
- ・生活科学系コンソーシアム第 39 回会議の資料（活動報告、会計報告）について確認した（資料 3-3, 3-4, 3-5, 3-6）

4. その他

なし

以上